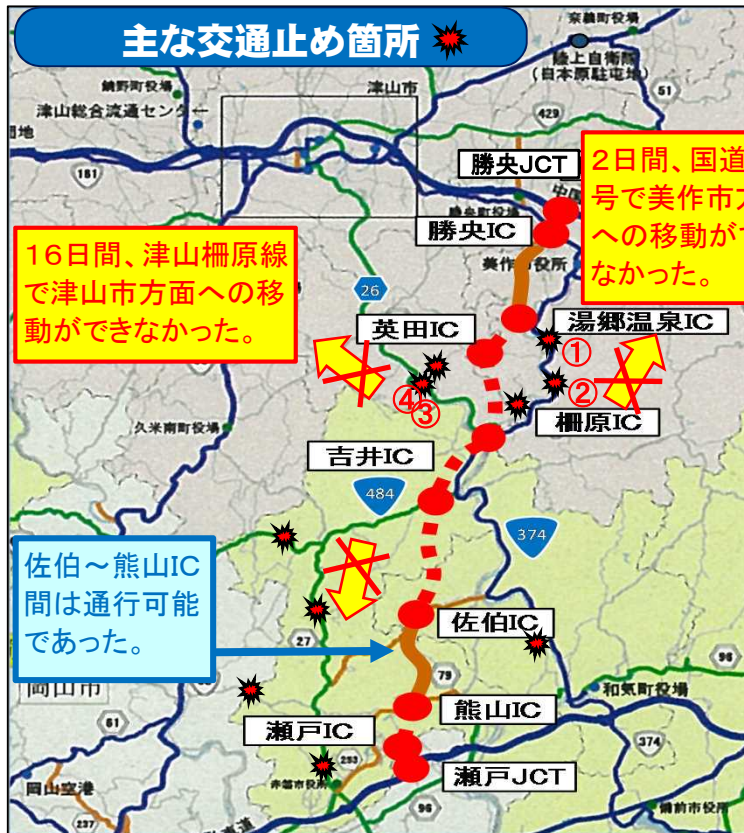


岡山県下に未曾有の被害をもたらした「平成30年7月豪雨」のため、飯岡地区周辺でも、土砂崩れや路面冠水などにより国道374号や県道津山柵原線などの幹線道路が16日間、全面通行止めとなり、道路交通に大きな影響が生じました。



国道374号が崩土、冠水により通行止め



崩土により水路が詰まり、路面冠水



河川の越水により歩道が破損

県道津山柵原線 土砂崩れ・冠水



崩土及び路面冠水で16日間全面通行止
(現在も片側交互通行規制中)



河川の越水により歩道が破損

7月5日から20日にかけて、県北部へ向かうルートでは、県道津山柵原線や国道374号が、また、県南部へ向かうルートでは、国道484号や県道岡山吉井線などが一時全面通行止めとなり道路交通網が寸断された結果、人の移動が妨げられたり、物流が滞り商品が適切な時間に届かないなど大きな影響が生じました。

また、全面通行止めが解除された後も、広域的な道路被害や鉄道の運休などの影響により、赤磐市内などでは著しい渋滞が発生し、通勤・通学に長時間を要するなど、住民生活にも影響が及びました。

このような状況の中、供用中の美作岡山道路は通行規制はなく、周辺道路の代替え道路として役割を果たしました。

美作岡山道路は、県東部地域を山陽自動車道から中国縦貫自動車道まで南北に直結するため、今回のような災害時にこそ、広域での道路ネットワークの確保に大きな効果を発揮します。引き続き、早期の全線開通に向け取り組んでいきます。